

# 年頭所感



新年明けましておめでとございます。  
米中両国間の緊張が長

## 受託検査ビジネスに一層注力

マークテック  
代表取締役社長

西本 圭吾

期化し、中東情勢やウクライナ紛争も収束の兆しが見えず、経済安全保障環境の複雑化が進む中、我々日本企業には、年々変化・多様化する地政学リスクを俯瞰し、経営戦略の優先順位を明確にした上で、自社の戦略ポートフォリオを再構築していくことが求められています。

ゆえに、当社グループでは、「品質保証を通して社会に安全と安心を届ける」という感謝されるモノづくりの集団」を存在理由に掲げ、検査・測定・評価・MRO(メンテナンス)、リペア、オーバーホールを手掛ける「品質保証を科学するソリューションプロバイダ」として、メ

ガトレンドに刺さる先端ビジネス領域において、「Reduce(削減)、Reuse(再利用)、Recycle(再生)するサーキュレーションエコノミー(循環型経済)」を重視した社会課題を解決する存在になることを目指してまいります。

最近のトピックとしては、昨年7月に新たに、天然由来のカシューパルティクルを用いたブレーキ用摩擦材を手掛ける東北化工株式会社が子会社となったことで、これまでに、化粧品・塗料の受託開発や受託生産ビジネス、並びにX線CT検査や紛体物性測定検査などの受託検査ビジネスに注力しております。

引き続き、指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

産報出版株式会社 発行

検査機器ニュース 第1531号 (2025年1月5日)